

ノア／ヴォクシー モデリスタ バージョン

リヤスカート 取付要領書

設定型式：MZRA90/5W, ZWR90/5W

設定グレード：S-Z, S-G

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本書は、リヤスカートの取付要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

★本商品は登録後架装を前提としています。

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。（PAC プライマー N210NT を本品に添付）

重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

重要 両面テープは、外気温が15℃未満になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。

■両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。

■両面テープのプライマーは、塗布面を黄変させますので必ず塗布面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）等で完全に拭き取って下さい。

■ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール（IPA）等で脱脂をきちんと行なって下さい。

重要 両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N（5kgf）以上

取り付け完了後の点検・注意事項

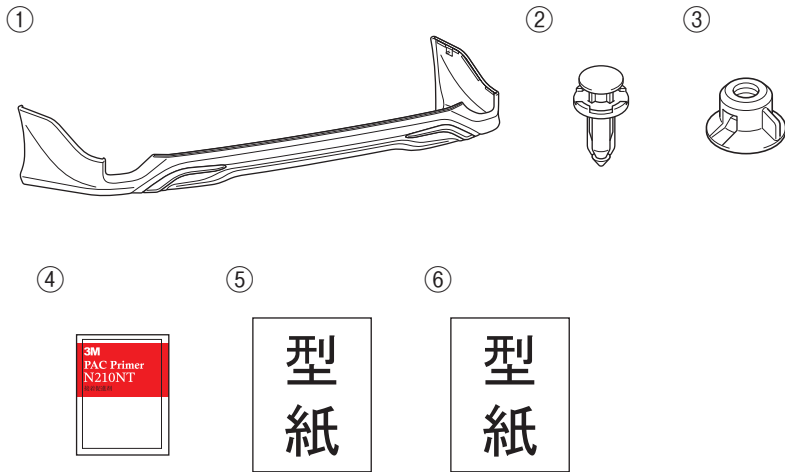
- リヤスカートが、車両バンパーに確実に固定されているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。（両面テープの剥がれ、車両バンパーとリヤスカートとの間に隙間が発生する恐れがあります。）

 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

ノア/ヴォクシー モデルスタバージョン

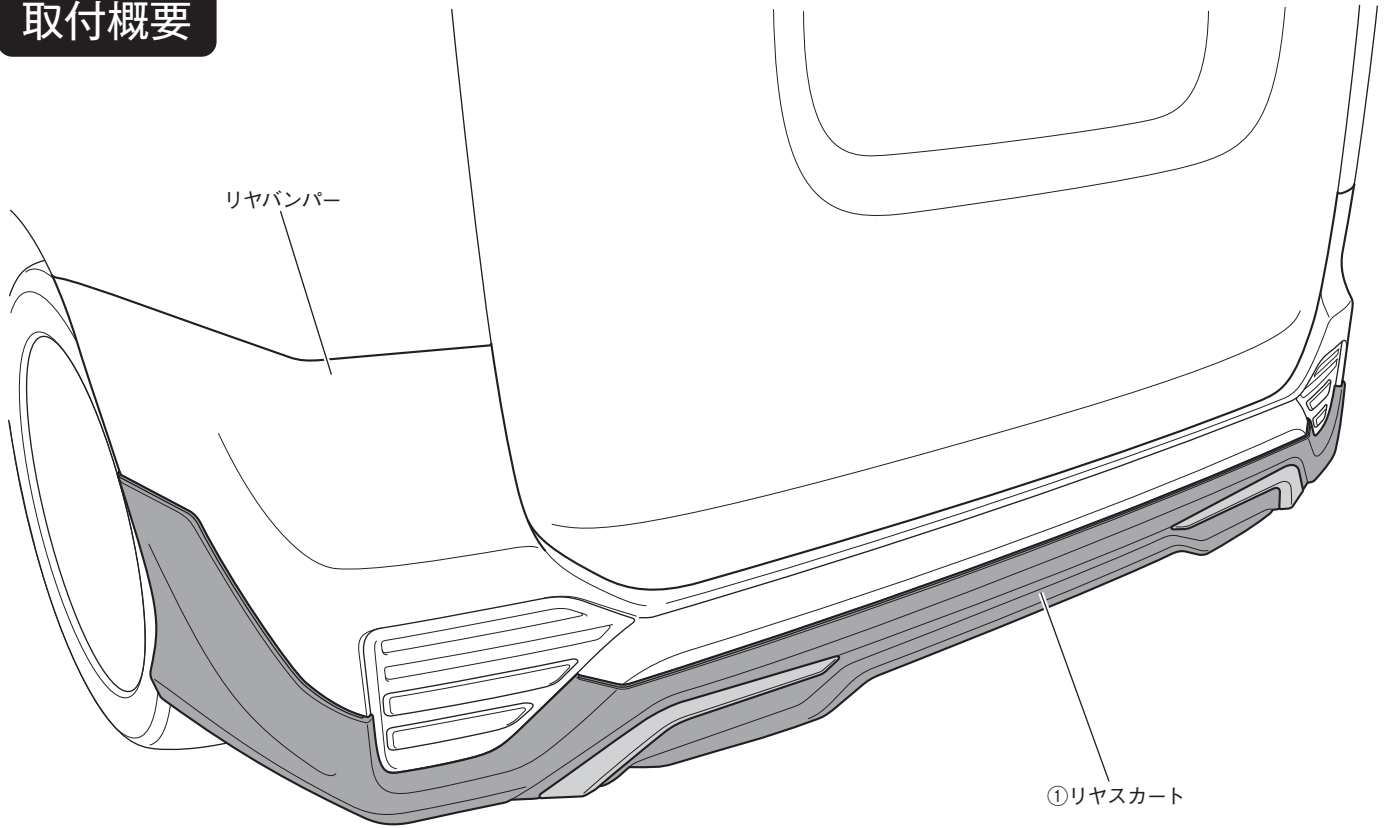
リヤスカート

(品番：MSD43-28001-**) (品番：MSD43-28002-NP)



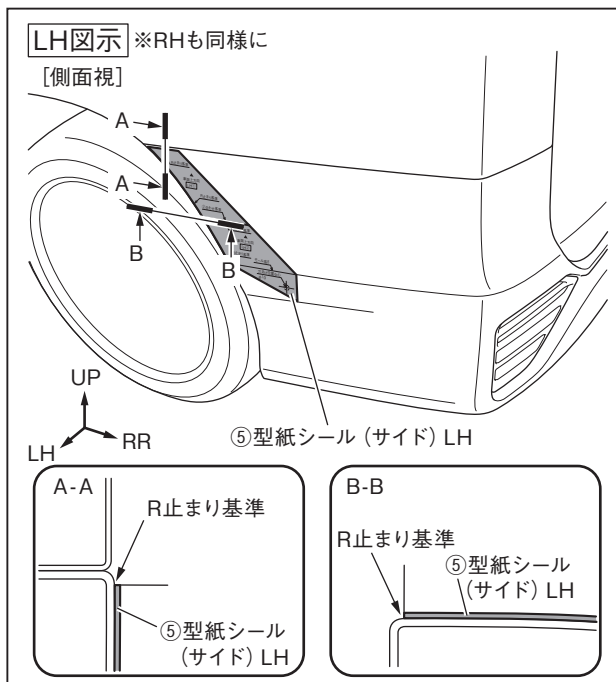
No.	品名	個数
①	リヤスカート	1
②	クリップ	4
③	クリップナット	2
④	PAC プライマー N210NT	1
⑤	型紙シール (サイド)	1
⑥	型紙シール (リヤ、CTR)	1

取付概要



取付手順

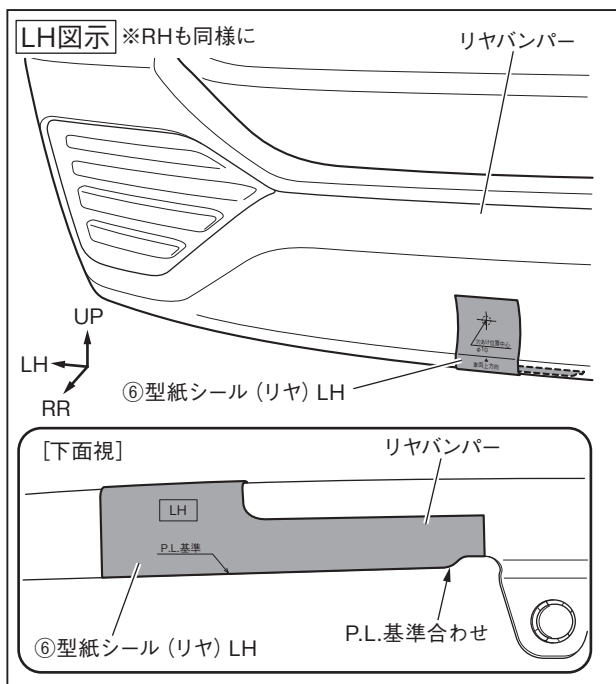
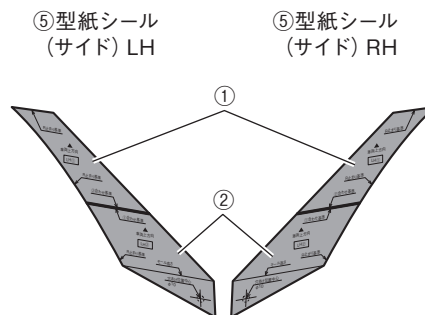
I. 取付準備



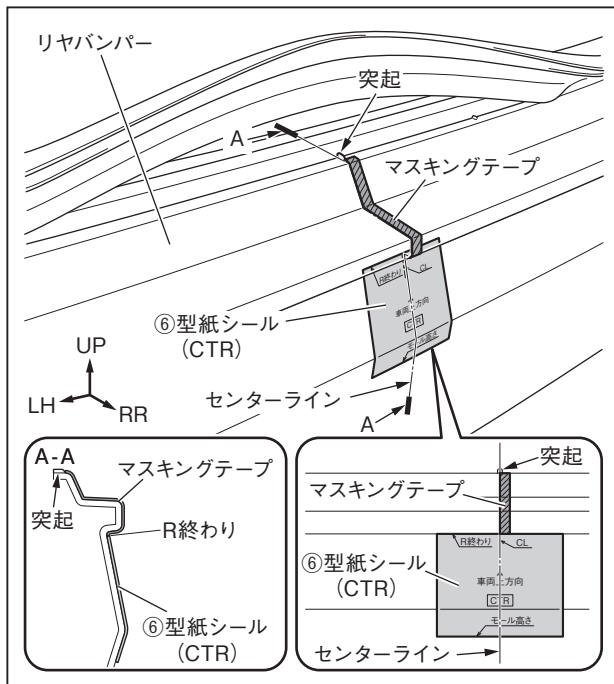
1. リヤバンパー側面の左図位置に⑤型紙シール (サイド) LH を貼り付ける。

アドバイス

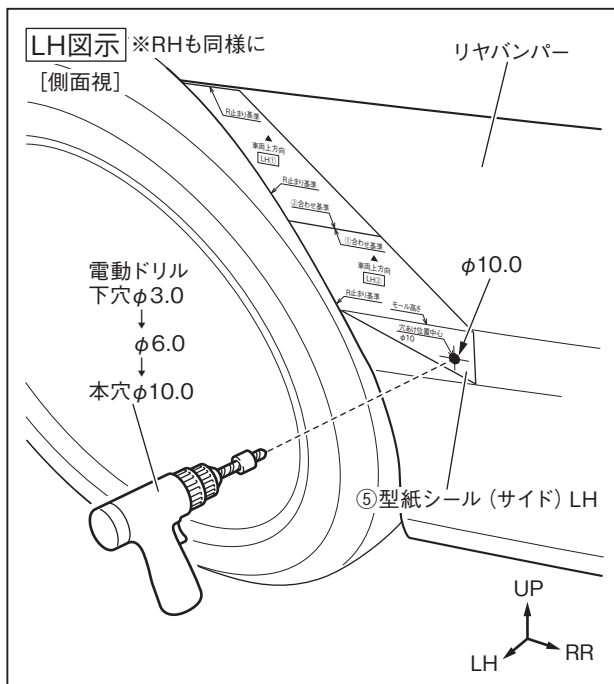
- ・⑤型紙シール (サイド) ①、②の順番に貼り付けてください。



2. ⑥型紙シール (リヤ) LH の下端をリヤバンパー下部の P.L. 基準に合わせ、左図のように貼り付ける。(左右各 1ヶ所)



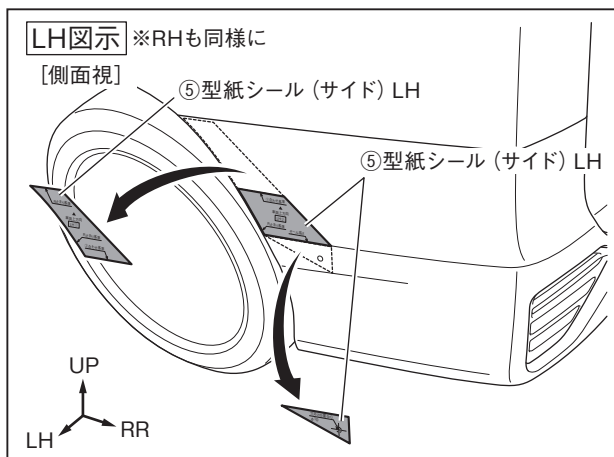
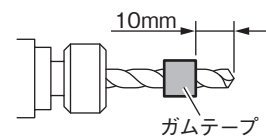
3. バックドアを開ける。
4. ウェザーストリップをめくりリアバンパー上部真ん中にあるリヤ形状先端を中心に左図のようにマス킹テープ（目安マーキング）を貼り付ける。
5. ⑥型紙シール（CTR）のセンターラインをマス킹テープ（目安マーキング）に合わせて貼り付ける。
6. マス킹テープ（目安マーキング）を剥がし、ウェザーストリップを復元する。
7. バックドアを閉める。



8. リヤバンパー側面の⑤型紙シール（サイド）LHの穴あけ位置に合わせてドリルで穴をあける。（左右各1ヶ所）（ドリル $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0 \rightarrow \phi 10.0$ ）

アドバイス

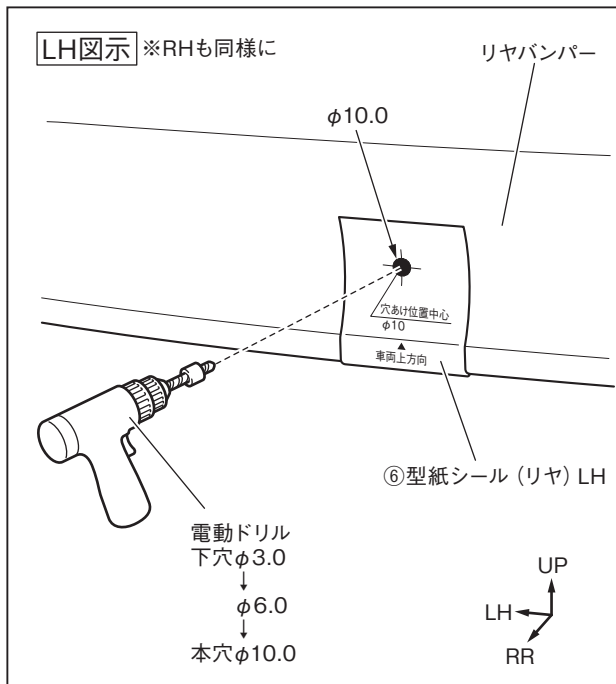
- ・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



9. ⑤型紙シール（サイド）LHを左図のようにミシン目で取り、加工穴周囲のバリを除去する。（左右各1カ所）

アドバイス

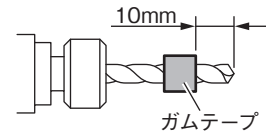
- ・残りの⑤型紙シール（サイド）LHは剥がさないでください。



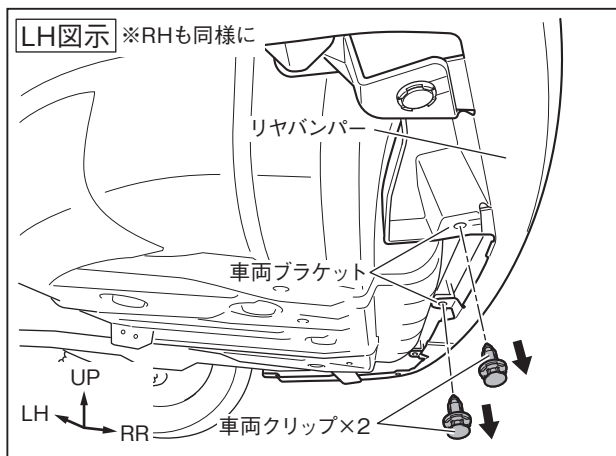
10. リヤバンパー後面の⑥型紙シール (リヤ) LH の穴あけ位置に合わせてドリルで穴をあける。(左右各1ヶ所)
(ドリル φ3.0 → φ6.0 → φ10.0)

アドバイス

- ・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



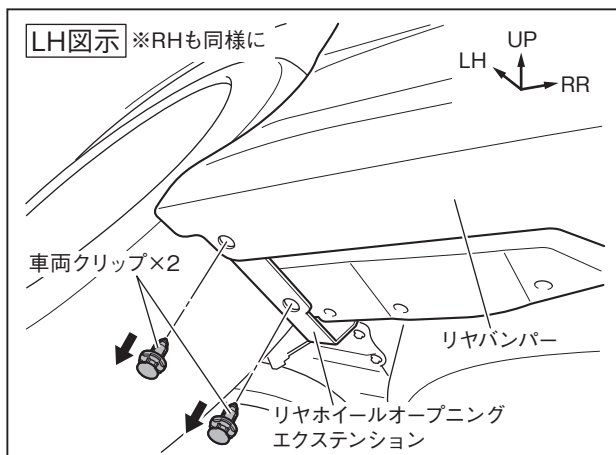
11. ⑥型紙シール (リヤ) LH を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。(左右各1ヶ所)



12. リヤバンパー下面の左図位置の車両クリップ (左右各2ヶ所) を取り外す。

アドバイス

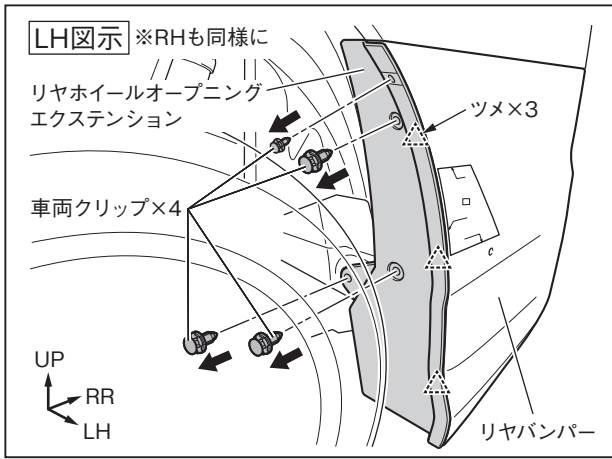
- ・取り外した車両クリップは再使用しません。



13. リヤタイヤ後方のリヤバンパー下面の車両クリップとホイールハウス部のリヤホイールオープニングエクステンション下面の車両クリップを取り外す。(左右各2ヶ所)

アドバイス

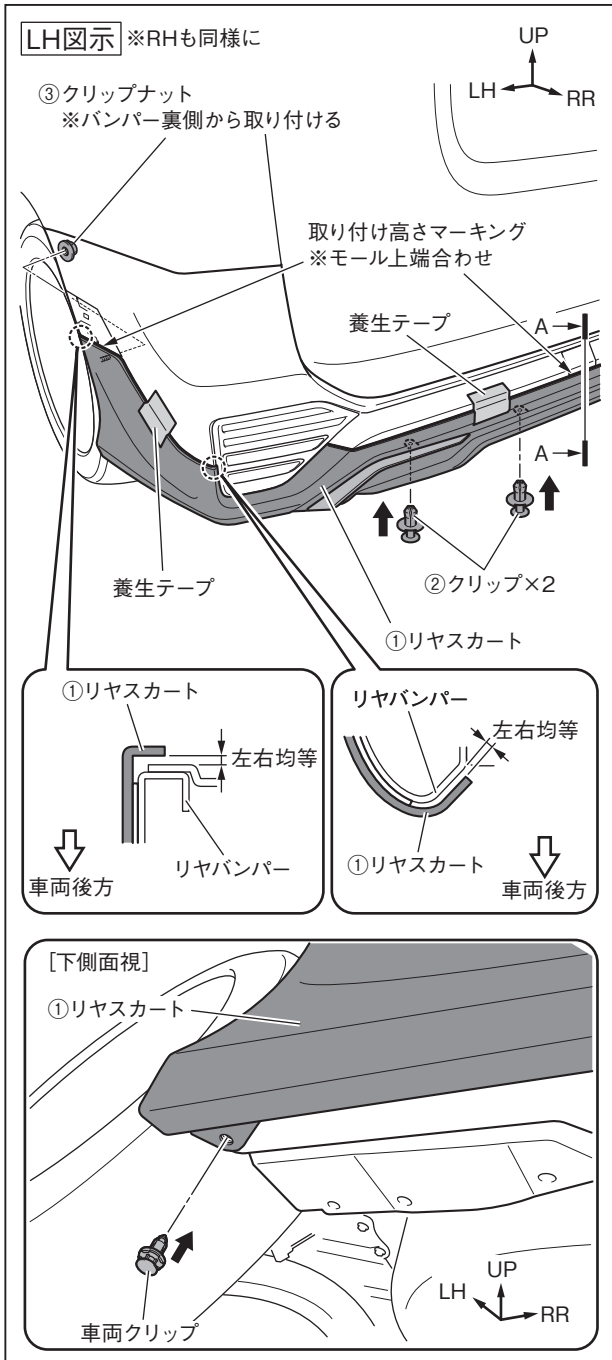
- ・取り外した車両クリップは再使用しますので、紛失しないようご注意ください。



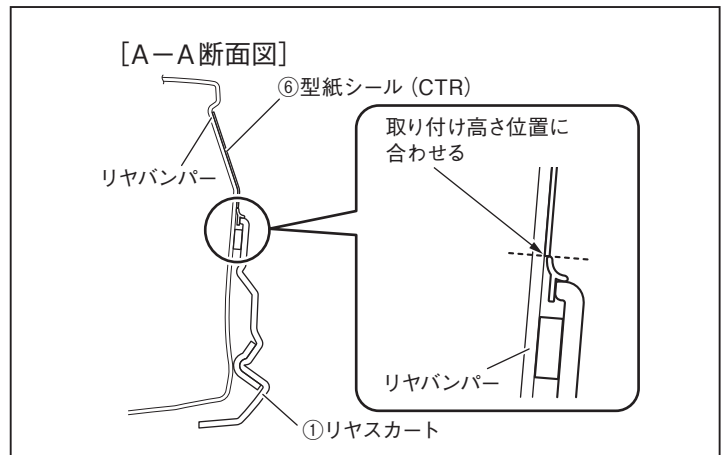
14. リヤタイヤ後方のホイールハウス部のリヤホイールオープニングエクステンションの車両クリップ（左右各4ヶ所）、ツメ（左右各3ヶ所）を外し、リヤホイールオープニングエクステンションを取り外す。（左右各1ヶ所）

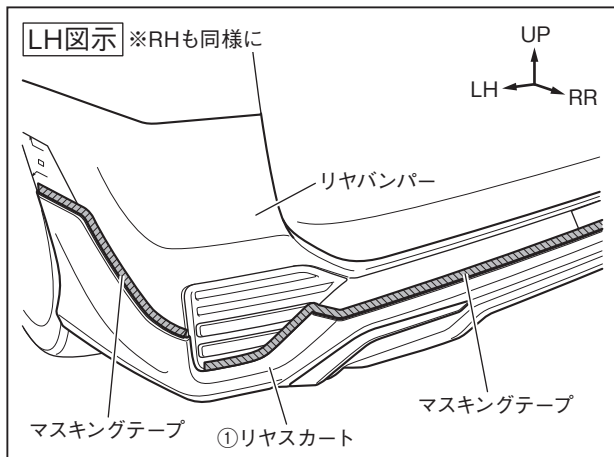
アドバイス

・取り外した車両クリップは再使用しますので、紛失しないようご注意ください。

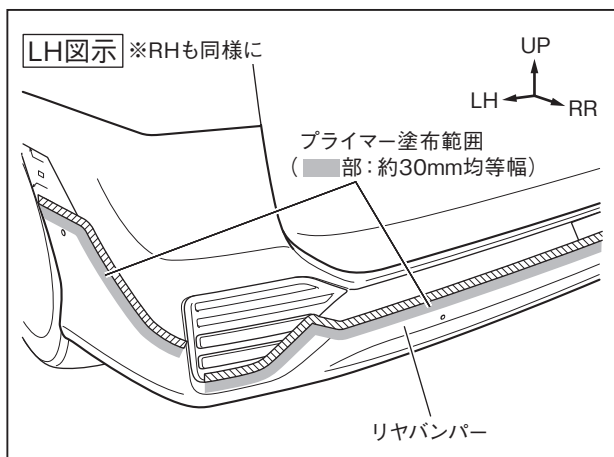


15. ⑤型紙シール（サイド）LH、（サイド）RHと⑥型紙シール（CTR）の取り付け高さ位置に合わせて①リヤスカートを車両に仮当てる。
16. ①リヤスカート下面を②クリップでブラケットに固定する。（左右各2ヶ所）（取り付け位置 左図参照）
17. ①リヤスカート側面のボルトを③クリップナット（左右各1ヶ所）で固定する。
18. ①リヤスカート下側面とリヤバンパーを車両クリップ（左右各1ヶ所）で固定する。（取り付け位置 左図参照）





19. 左図を参照し、①リヤスカート端末（モール貼り付け部はモール上端）に沿わせてマスキングテープを⑤、⑥型紙シールの上から貼り付ける。
20. ①リヤスカートを取り外す。

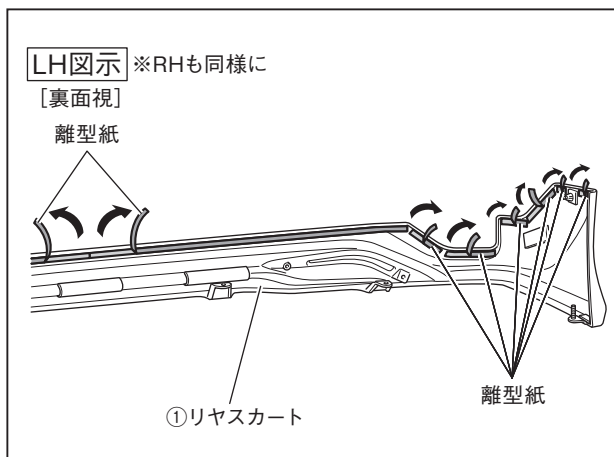


21. リヤバンパーの左図斜線部を一方に拭いて清掃・脱脂し、④ PAC プライマー-N210NT を塗布する。

👉 アドバイス

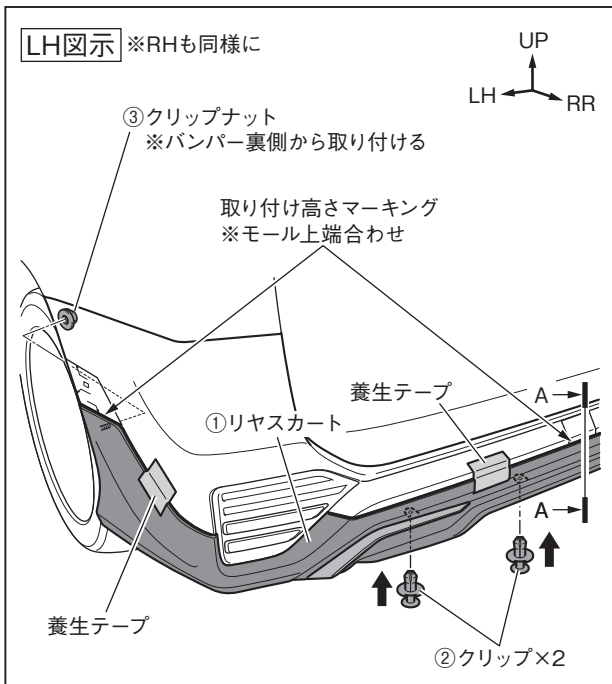
- ・ PAC プライマー N210NT は特に塗布面を黄変させるため、はみ出したプライマーは、IPA 等で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー N210NT 塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

22. マスキングテープを剥がす。
※取り付け高さ位置を示す⑤型紙シール（サイド）LH、（サイド）RH と⑥型紙シール（CTR）は剥がさないでください。

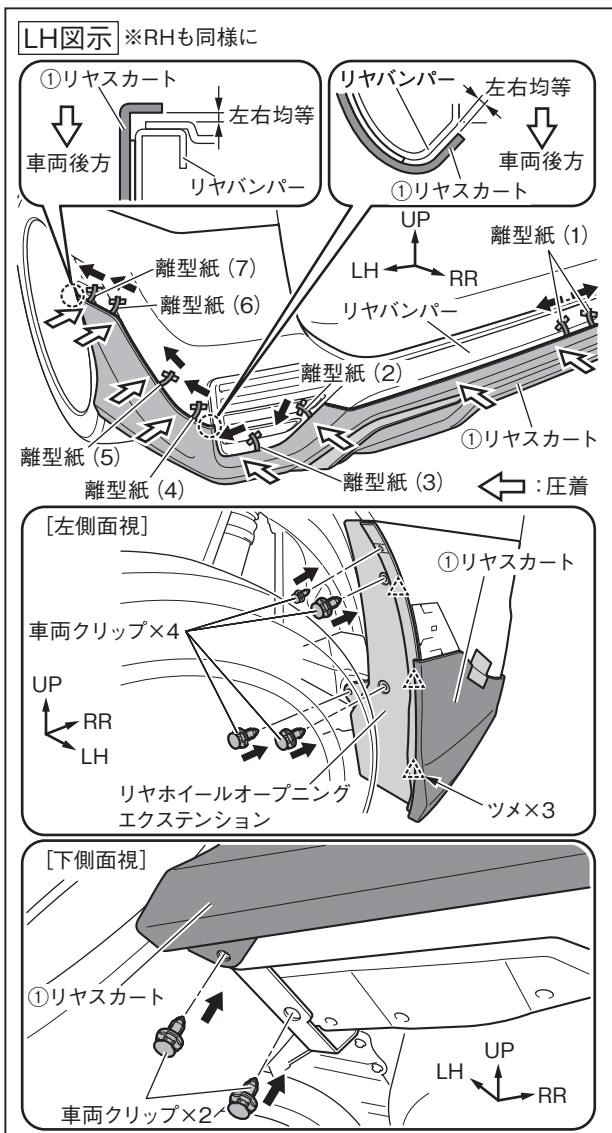
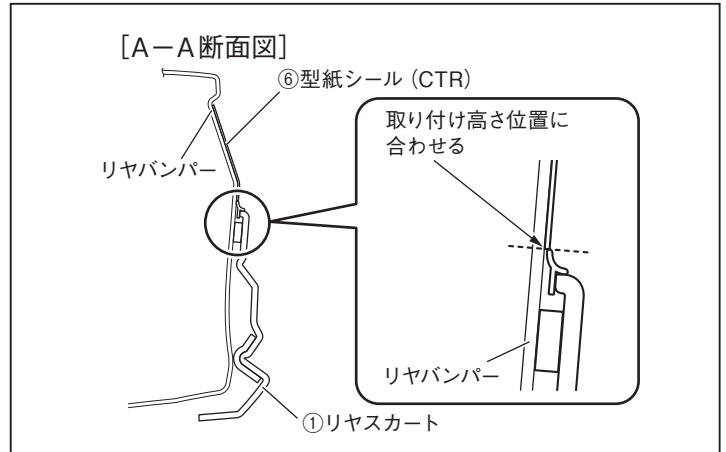


23. リヤスカートの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。（左右各7ヶ所 左図矢印部）

II. 取付け



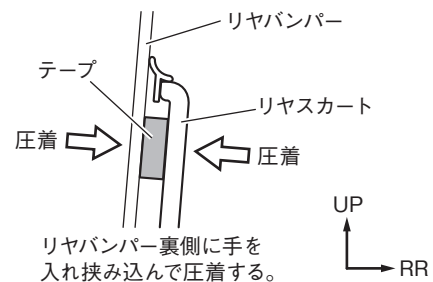
- ⑤型紙シール (サイド) LH、(サイド) RHと⑥型紙シール (CTR) の取り付け高さ位置に合わせて①リヤスカートを車両に仮当てる。
- ①リヤスカート下面を②クリップでブラケットに固定する。(左右各2ヶ所) (取り付け位置 左図参照)
- ①リヤスカート側面のボルトを③クリップナット (左右各1ヶ所) で固定する。



- ⑤型紙シール (サイド) LH、(サイド) RHと⑥型紙シール (CTR) の取り付け高さ位置にリヤスカートが合っていることを確認し離型紙 (1) ~ (7) を矢印の向きに引き抜きながら外側に向けて圧着する。

アドバイス

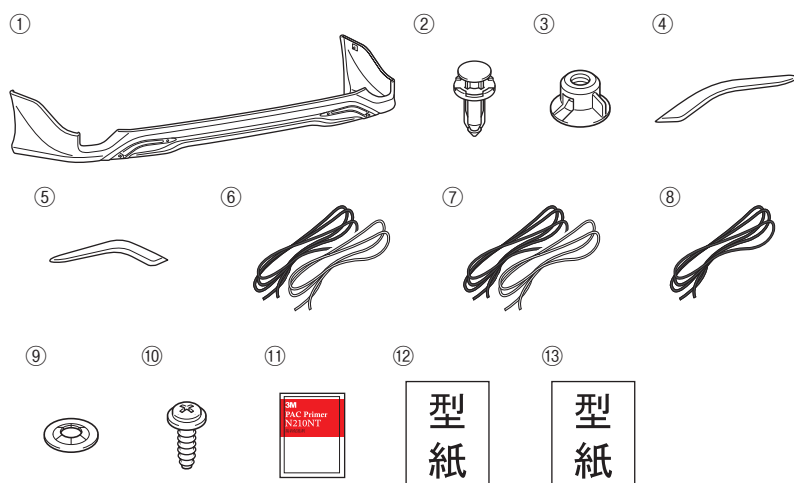
- ・圧着時リヤバンパーが逃げないように裏面に手を添えながら圧着してください。



- 取り付け高さ位置を示す⑤型紙シール (サイド) LH、(サイド) RHと⑥型紙シール (CTR) を剥がし、①リヤスカート下面の②クリップ (左右各2ヶ所)、側面の③クリップナット (左右各1ヶ所) を固定する。
- リヤタイヤ後方のホイールハウス部のリヤホイールオープニングエクステンションを車両クリップ (左右各4ヶ所)、ツメ (左右各3ヶ所) でリヤバンパーに付け戻す。
- ①リヤスカート下側面とリヤホイールオープニングエクステンションを車両クリップ (左右各2ヶ所) で固定する。(取り付け位置 左図参照)
- ①リヤスカートの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

リヤスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数	
①	リヤスカート	1	
②	クリップ	4	
③	クリップナット	2	
④	メッキピース LH	1	
⑤	メッキピース RH	1	
⑥	I型モール (センター): 1,300mm	ブラック	1
		ライトグレー	1
⑦	I型モール (サイド): 1,040mm	ブラック	1
		ライトグレー	1
⑧	L字モール: 480mm	ブラック	1
⑨	プッシュナット	2	
⑩	タッピング	2	
⑪	PAC プライマー N210NT	1	
⑫	型紙シール (サイド)	1	
⑬	型紙シール (リヤ、CTR)	1	

イ型モール (※) 推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1K0	メタルストリーム M	ブラック
1L6	マッシュブグレー	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
220	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン	ブラック
226	グリッターブラック GF	ブラック
3R3	レッドマイカ M	ブラック
4X1	スチールブロンド M	ライトグレー
229	ニュートラルブラック	ブラック
1M6	アーバンロック	ブラック

リヤスカートの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※①リヤスカートをボディ色で塗装する。

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

変形しない様、形状を保持して乾燥させてください。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面、クッションをマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。(本製品の素材は > PP < です)
4. 上塗り塗装を行う。
5. 乾燥

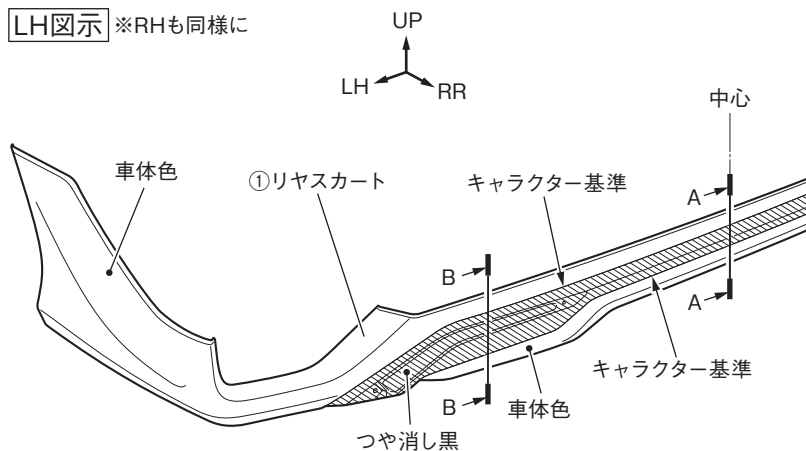
ツートン塗装

- ①リヤスカートの下図斜線部をマスキングし、つや消し黒に塗装する。

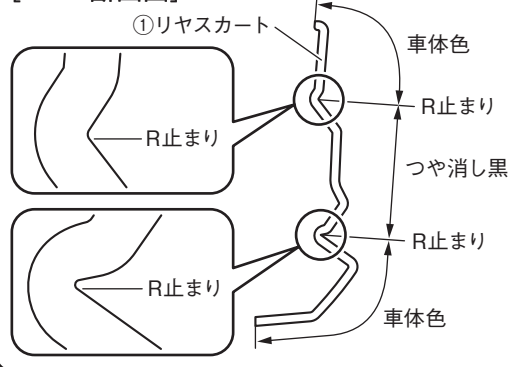
アドバイス

- ・モールド貼り付け面は漏れがない様にマスキングしてください。

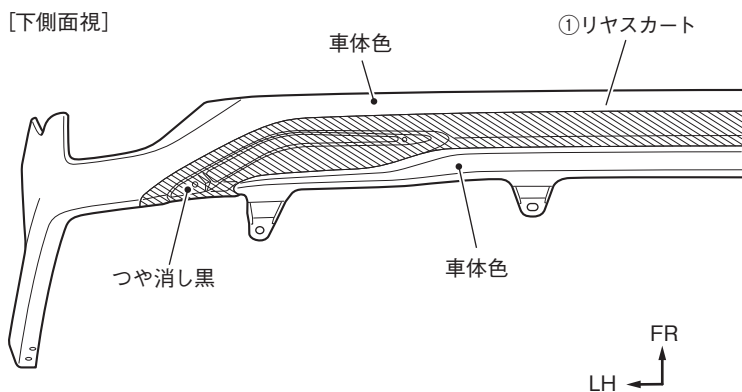
LH図示 ※RHも同様に



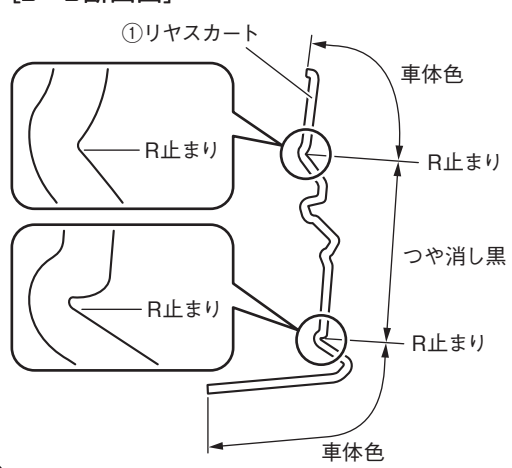
[A-A断面図]



[下側面視]



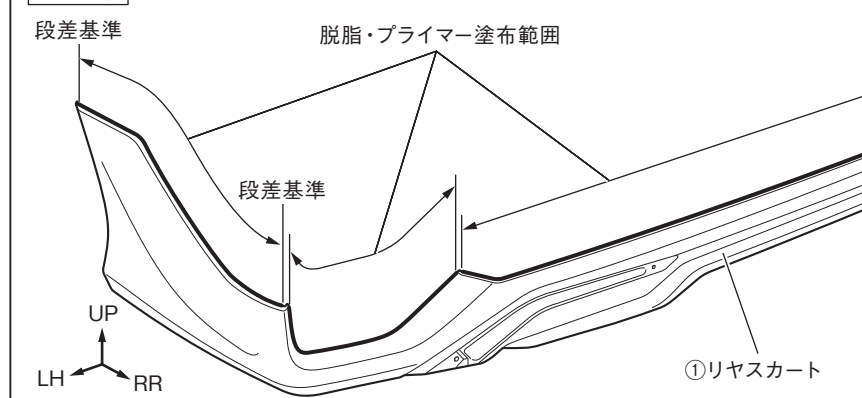
[B-B断面図]



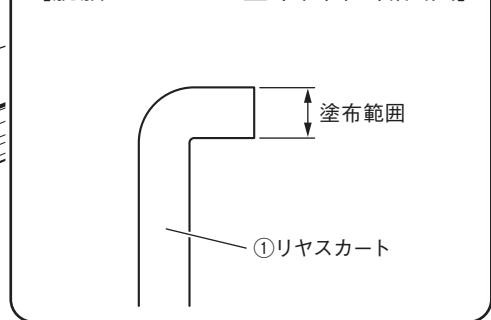
プライマーの塗布

- ①リヤスカートの⑥⑦イ型モールドと⑧L字モールド貼り付け部分を脱脂し、⑪PACプライマーN210NTを塗布する。

LH図示 ※RHも同様に



[脱脂・プライマー塗布範囲 断面図]

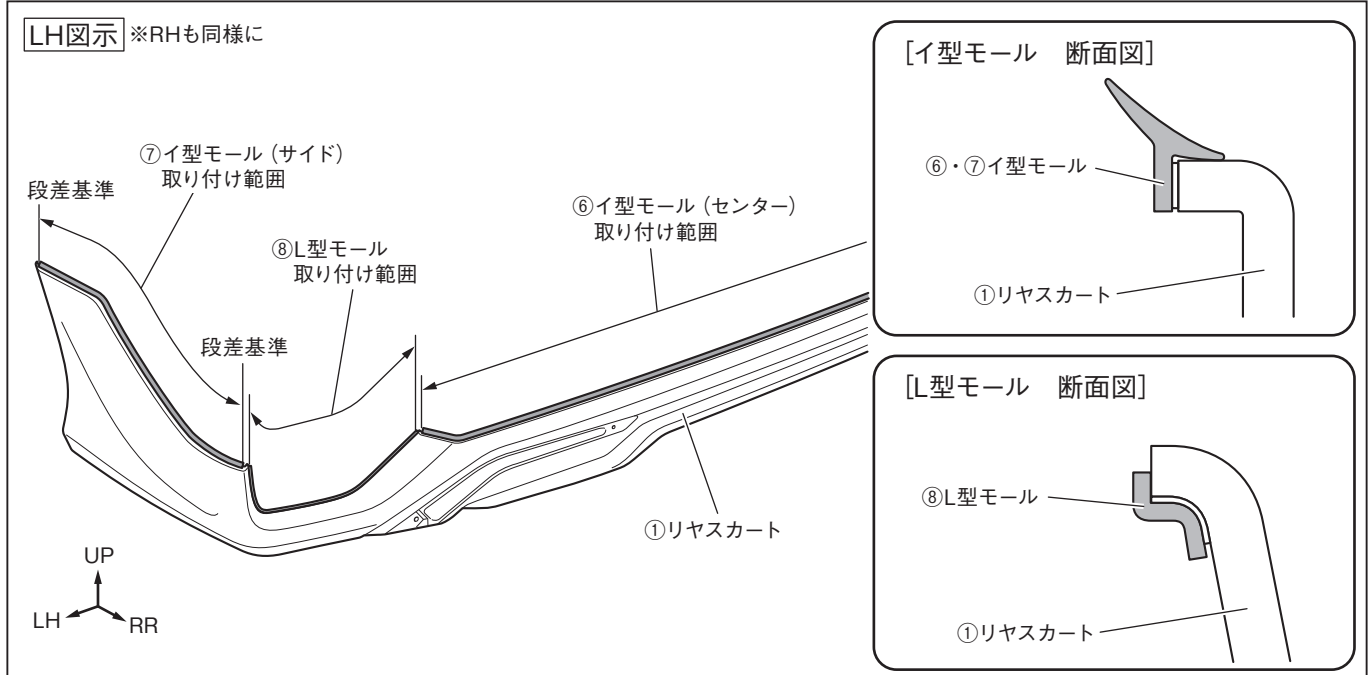


👉アドバイス

- ・PAC プライマー N210NT は特に塗布面を黄変させるため、はみ出したプライマーは、IPA 等で拭き取ってください。
- ・PAC プライマー N210NT 塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・PAC プライマー N210NT はリヤスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

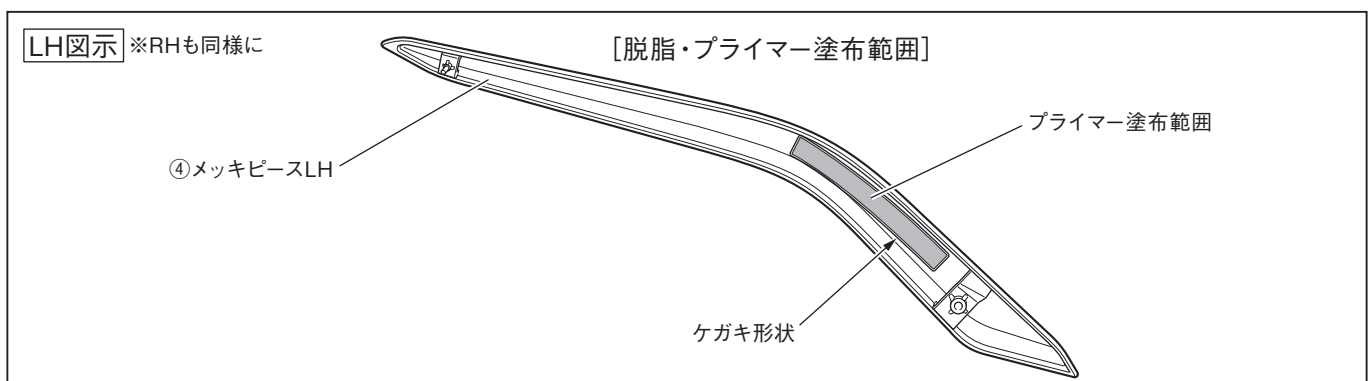
イ型モールとL字モールの貼り付け作業

1. 下図の要領で⑥⑦イ型モールと⑧L字モールの貼り付ける。



メッキピースの取り付け作業

1. 塗装終了後、下図の通り④⑤メッキピースをケガキ形状に合わせ脱脂し、⑪PAC プライマー N210NT を塗布する。



👉アドバイス

- ・PAC プライマー N210NT は特に塗布面を黄変させるため、はみ出したプライマーは、IPA 等で拭き取ってください。
- ・PAC プライマー N210NT 塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・PAC プライマー N210NT はリヤスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

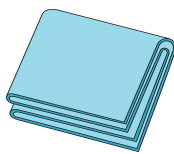


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



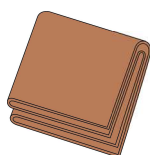
合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



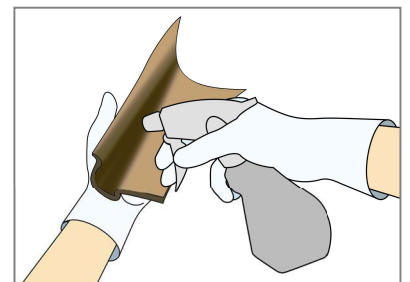
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

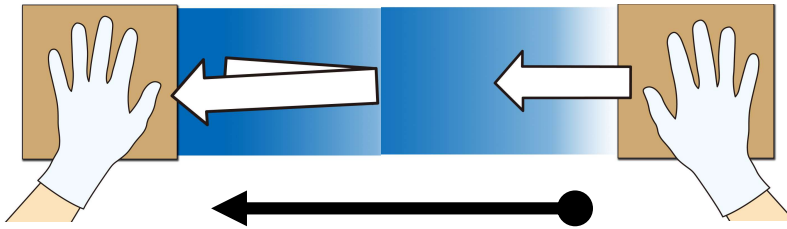
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

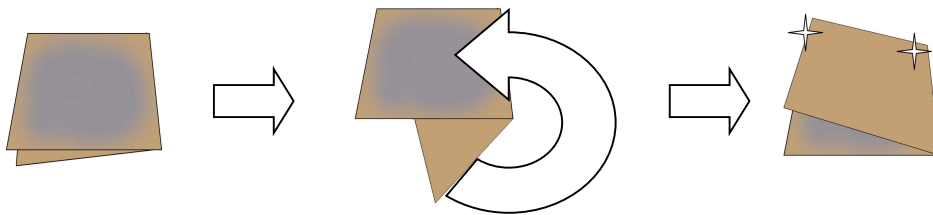
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。